

平成26年度 大阪市社会教育委員会議 第3回全体会 議事録

1. 日 時 平成26年12月25日(木) 午後10時から12時
2. 場 所 大阪市立総合生涯学習センター 第1研修室
3. 出席者
(委員)
岩槻委員・木原委員・笹川委員・長谷部委員・久委員・平井委員・弘本委員・
宮田委員・森下委員・八幡委員
(教育委員会事務局)
山本教育長・森本生涯学習部長、濱崎生涯学習担当課長、藏田社会教育施設担当
課長、植木文化財保護担当課長、谷口こども青少年局青少年課長、大上経済戦略
局文化部文化課長
4. 議事概要
 - (1) 開会
 - (2) あいさつ
 - (3) 出席委員・出席関係職員紹介
 - (4) 議案
 - ・ 意見具申(案)について
 - ・ 今後のスケジュールについて
 - (5) 報告
 - ・ 社会教育委員の異動について
 - ・ 生涯学習に関する世論調査結果について
 - ・ 平成27年度指定都市社会教育委員連絡協議会の開催について
 - ・ その他
5. 主な意見等について
(意見具申(案)について)
 - ・ 団体支援について、地域で頑張っているところについては援助するという姿勢をみせてほしい。
 - ・ 同じ市民でも様々なスタンス、関わり方がある。市と区、市民との関係を再構築するスタートが切れることに期待する。
 - ・ 前半の1、2章と、後半の3、4章の両者の関係性の文言が不足していないかをチェックしていく必要がある。例えば、後半の3、4章で、子どもや外国籍住民に対するサポートの必要性を社会的包摂の部分に盛り込まれているが、1、2章でも加筆しておく必要があるのではないかと。また、後半の高齢者、単身者への生涯学習の必要性に加えて、社会的包摂に含まれる子どもや、外国籍住民へのアプローチについてももう少し文言があってもよい。

- 内容に項目タイトルがついてきていないところが何点かある。中身に合った上手なネーミングをする必要がある。
- 行政の事例と民間の事例に加えて、中間支援組織の連携について追記していく。
- 学校については、先生への支援も含めて、地元でバックアップしていく必要がある。
- 社会教育をすすめていく上で、学校のポジションは大きい。地域での社会活動のスタートのきっかけがPTAであることは多い。新しい時代に向けて、学校そのもののありようを変えていく必要があるのではないか。管理職を中心に研修などの機会を通じてこれまでの考え方を変えながら、学校の役割への考え方を広げていく必要がある。
- 学校との連携、学校教育への支援のところの書きぶりとして、学校を助けようとしている人たちにとっても、それが学習をともなっているということが明確になるような書きぶりにしないといけないのではないか。
- つながることでみえてくるところがたくさんあるし、助けている側が助けられている部分はたくさんある。どちらかが助ける、助けられるというような単純なものではないというところには留意していく必要がある。
- 教育委員会が主催する井戸端会議のようなところで収集した地域の情報を広げていくのははぐくみネットのコーディネーターの役割になると思う。はぐくみネットコーディネーターが広報誌を出したりして、地域に情報をひろげていく必要がある。
- 今まで、各々がそれぞれの活動をするにあたって、あまり困っていなかった。時代の変動の中で足らずの部分が出てきたときにはじめてネットワークの必要が出てくる。ネットワークをしていくためには自らを開いていくことが必要になる。自分を開いていくと、つながるチャンスも出てくる。その部分を意見具申の前半でおさえておけば、後半で落ちてくる。
- シェアする、重ね合わせていくというキーワードも重要。
- 開いているが繋がらない理由のひとつとして、自分の都合のいいようにしか開いていないというところがあるのではないか。まずは開く側が市民ニーズに開いて初めてネットワークになる。連携はそもそもやっかいなもの。連携しようと思うと、調整や、綿密なやりとりが必要。その連携のやっかいさを喜びに変えていく時期になってきている。
- 開かれた学校という言葉はずっと以前からあるが、理念がシステムについていない。システムをどう作っていくかを考えていかないと無理をした人、できる人しかできない活動になってしまう。
- 大阪の近現代は、苦勞して課題を乗り越えてきた歴史があり、生活文化の魅力もあるので、加筆しておく必要がある。
- 歴史、文化ほど今回のキーワードになっている、つなぐということの有効な媒体になるものはないと思う。つなぐということに活かしていけるものであるという文言

を入れておけばどうか。

- 区役所に生涯学習支援機能の充実をするという記述があるが、区役所を拠点とする時に事業のありようが形だけのものにならないように、生きたものになるようにして行ってほしい。